



第6期 株主通信

2020年1月1日~12月31日

BUSINESS REPORT



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.





厳しい環境下だからこそ、
確かなモノづくりとサービスで
お客さまのサポートに
努めてまいります。

2021年3月

代表取締役社長

藤田 一郎

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、医療現場をはじめ、事態の収束にご尽力いただいているみなさまに深く感謝申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第6期(2020年1月1日～2020年12月31日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客さまが創造性(クリエイティブ)を表現するために必要とする多様なソリューションを提供するため、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しています。

当連結会計年度におきましては、年初からの新型コロナウイルス感染症の広がりに伴う自粛要請、また緊急事態宣言が発出されるにいたり、経済・社会生活全般にわたる非常に大きな影響を受けることとなりました。

当社企業グループは、お客さまの事業をサポートし続けることが使命であり、また企業責任であるとの理念のもと、従業員の感染防止に万全を期し、一丸となって事業の継続に努めるとともに、新たなニーズの掘り起こしと経営基盤の強靱化などに努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高512億48百万円、経常利益では7億7百万円の黒字を確保したものの、親会社株主に帰属する当期純利益は17百万円の計上にとどまることとなりました。

今後も社会の変化に柔軟に対応し、当社企業グループがお客さまにとって必要不可欠な企業集団としてあり続けるため、クリエイティブサービス事業を軸としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大による当社グループへの影響

今般のコロナ禍では、とりわけ観光業界や映画、演劇、音楽といった興行・エンターテインメント業界、飲食業を中心に事業の自粛が求められました。当社企業グループは幅広い業界、業種のお客さまからお取引をいただいております関係から、その影響を少なからず受けざるを得ないこととなりました。生活様式や働き方が変容する中、当社企業グループ各社はそれぞれが持つソリューションを持ち寄り、お客さまを全力でサポートさせていただくよう努めてまいりました。

■印刷・製造事業

定期出版物の受注は比較的安定して推移していたものの、各種イベントなどの先送りや中止、商業施設、娯楽施設の休業、インバウンド需要の消滅などの影響により、サイン・ディスプレイ関連、販促ツール制作の受注が大幅に減少いたしました。そのような状況の中、感染防護資材などのひっ迫状況にいち早く対応して抗菌ポリエチレン製フェイスシールドや防護服の代替品としてポリエチレン製衛生ポンチョを開発しました。また飛沫防止スクリーン、抗菌マスクケースやソーシャルディスタンスを促す足跡シールなど、各社さまざまな形で社会ニーズに合致した商材増強に努めました。

■セールス・プロモーション事業&ロイヤルカスタマー

各種販促イベントの中止や縮小、映画館などの娯楽施設の休業、コンサートや演劇の休演などが相次いだ上、夏季に予定されていたオリンピック・パラリンピックという世界規模のイベントが順延されたことによって、当事業分野での需要消失は特に顕著でした。

一方、感染防止を前提としたプロモーション手法へのニーズもあり、グループのソリューションを活用した提案活動に注力しました。

■デジタル・コンテンツ事業

当事業分野では需要の消失などの影響が特段みられなかったこと、テレワークへの移行が容易であったことから事業面での影響は軽微なものにとどまりました。

感染防止の観点からWEBや通信などのデジタル技術の活用に関心が高まり、通信販売に向けてのWEBページの制作、非接触目的のスマートフォンアプリの開発、また観光事業の代替策としてAR・VR技術の活用など、多くのご要望やお問い合わせをいただきました。

このような中で、AR・VRといった仮想空間技術を用いた「バーチャル展示会」なども提案させていただき、多くの反響をいただきました。

■メーカー・OEM事業

販促活動の自粛、映画館やテーマパークの休業、コンサート、演劇などの休演、来日観光客の減少などからノベルティ製品や記念品、土産物などの需要が減少しました。その一方で生花を独自技術で生地加工、バッグとして製造・販売を行う自社ブランド「HANA.CANVAS」を立ち上げるなど、受託に依存しない事業にも挑戦しました。

今期の事業概要①

首都圏から地方へ、 商圏エリアの拡大が進展



日本創発グループ

APRISE
株式会社 アプライズ

近畿エリア



首都圏エリア



新日本工芸(株)

KPC 研精堂印刷株式会社

SMC
㈱サンエム・コーポレーション

SMILE FLAG
株式会社 スマイル

あみューズ

東西を一直線に結ぶ事業拠点を構成

当社企業グループは2017年までは首都圏を中心に事業を展開していましたが、以後地方にも次第に拠点を広げ、2019年度には中京圏に営業基盤を持つ株式会社アプライズと香川県高松市を拠点とする株式会社スマイルをグループに加えるなど地方中堅都市での事業基盤を拡大してまいりました。

当事業年度においては1月に岡山市を拠点とする研精堂印刷株式会社が、10月には兵庫県西宮市の株式会社小西印刷所がグループに参画したことにより西日本における事業拠点がさらに広がりました。また、株式会社キヤドセンター、株式会社サカモト、株式会社MGSと関連会社である株式会社サイバーネットを加えた4社の在阪拠点を大阪市西区の新オフィスに移転集結させたことで近畿圏において各社の事業連携をさらに容易なものとした。

これらによって当社グループは中・四国から近畿、中京圏

を経て首都圏にいたる主要都市部をつなぐ拠点網が構築されたこととなりました。さらに茨城県と仙台市を拠点に全国の寺社・神社などに対して縁起物・授与品を奉製・販売をしている新日本工芸株式会社も4月にグループへ参画しました。

国内主要都市をつなぐ事業拠点の構築は当社グループにとって商圏の拡大をもたらすとともに、より広範囲のお客さまに、当社グループの多様な商材と、きめ細かいサービスの提供が可能となり、同時に物流効率の向上にも大きく寄与してくるものと考えております。当社グループは、今後も商圏拡大を進めていくにあたり、これら拠点の拡充はもとより、グループ内での相互連携をさらに円滑にする環境整備を進め、グループ各社によるシナジー効果の創出を促してまいります。



㈱スマイル — 香川県高松市



新日本工芸㈱ — 茨城県水戸市



㈱アプライズ — 浜松市



研精堂印刷㈱ — 岡山市



今期の事業概要②

都心部の事業拠点および生産体制の再編

当事業年度においてはグループ内各社の事業所の再配置を実施、事業基盤の強化に取り組んできました。6月に行った在阪拠点4社の集約に続き、7月には浜松市に本社をもつ株式会社アプライズ、岡山市の研精堂印刷株式会社、兵庫県西宮市の株式会社小西印刷所各社の東京支社・支店を多くのグループ会社が集結している九段エリア(千代田区神保町)に集約。また、設立直後の株式会社ワン・パブリッシングの本社機能も、台東区上野にある当社オフィスとの合流をいたしました。

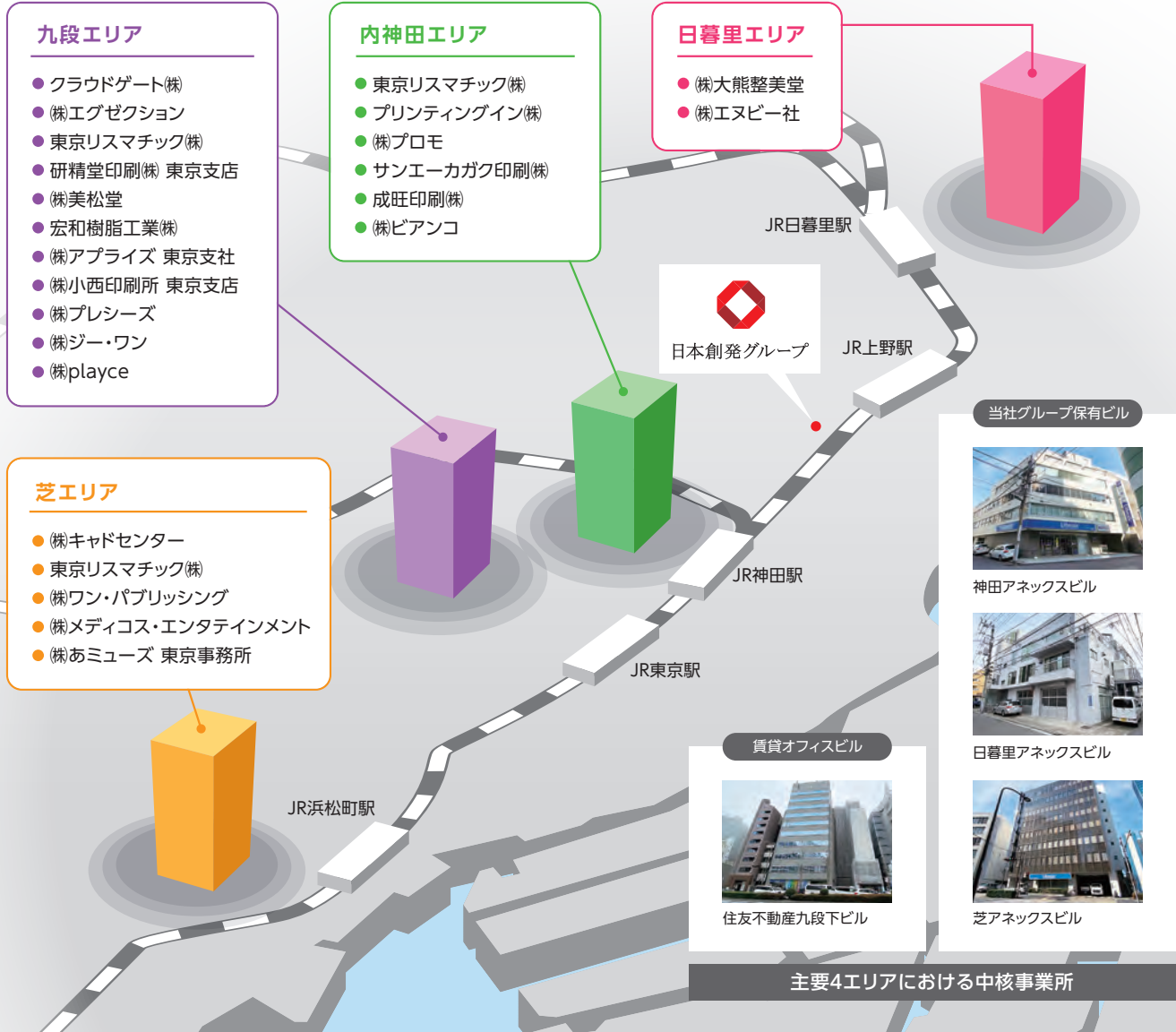
これらの施策によって、グループ参画が比較的新しい各企業においても、いち早くグループ各社との円滑な連携体制を得られることとなり、シナジー効果の創出につながる環境が整いました。

加えて既存各社も、事業環境とその業務特性などを考慮して本質的な「働き方」を見直し、グルーピングの再編を行いました。特にデジタルコンテンツ事業においてはコロナウィルス感染防止を目的としたリモートワークを積極的に導入いたしました。高性能なノートPCと大型ディスプレイを速やかに導入するとともにネットワークの負荷とセキュリティの監視を強化し、業務の質を落とすことなく事業を継続することに注力いたしました結果、これらの施策はオフィスの必要面積、レイアウトの見直しへとつながり、株式会社キャドセンターにおいては賃貸のオフィスビルから当社グループが保有するビルへ転居することにいたしました。これらは保有資産の有効活用および固定費削減の面からも大きな改善となります。



立地や事業特性を考慮して愛知県刈谷市の㈱あみューズへ製造設備および業務移管された製品の一例
DECOチョコ®(左)、アクリル製キーホルダー(中)、アクリルスタンド(右)

当事業年度に集約が進められた都内4エリア及びエリアにおける事業所



新規グループ参画会社紹介



2020年1月参画 / 2020年4月連結

KPC 研精堂印刷株式会社

研精堂印刷株式会社
商業印刷・出版印刷・WEB制作
岡山市北区高柳東町10-30
<https://www.kenseido.co.jp/>
連結子会社 議決権比率:45%

2020年1月参画 / 2020年4月持分法

SMC

(株)サン・エム・コーポレーション

株式会社サン・エム・コーポレーション
印刷物加工・製本・封入発送等関連サービス
岡山市北区高柳東町13-12
持分法適用子会社 議決権比率:100%

1947年1月に岡山県岡山市にて創業。岡山本社・工場に加えて東京に2支店を配し、24時間365日稼働の生産体制で県下はもとより、幅広い地域のお客さまからのご要望にお応えしています。ギリシア語で継続してやり遂げる精神をいう「ディア・

フォロン」を合言葉に、クリエイティブ・編集から印刷、製本、加工、封入および発送まで、グループ会社のサン・エム・コーポレーションと共に品質の高い製品づくりに努めています。西日本の生産拠点として、さらなるインフラの充実を計画しております。



2020年10月参画 / 2021年1月持分法

KI 株式会社 小西印刷所

株式会社小西印刷所
商業印刷および付帯サービス
兵庫県西宮市今津西浜町2-60
<https://www.konishi-p.co.jp/>
持分法適用関連会社 議決権比率:39%

兵庫県西宮市で1926(大正15)年に創業、同市内最大規模を誇る総合印刷会社です。ドイツ製の新鋭印刷機を国内で最初に導入するなど進取の精神は創業以来のもの。システム構築・WEB・動画作成や販促・プロモーション企画の運営・制作など「印刷」の枠を超えた「総合サービス」の提供を標榜しています。長期にわたる優良な企業様との取引実績が培ってきた信頼を裏付けています。



2020年10月参画

PROMO

株式会社プロモ

ポットイング印刷・
応援グッズの製作販売

東京都千代田区内神田2-14-6
神田アネックスビル4F
<https://promobiz.co.jp/>
持分法適用外関連会社 議決権比率:90%

2000年12月設立。透明なポリウレタン樹脂をシールラベルに塗布してドーム状に硬化させる印刷加工であるポットイング印刷と、メガホンをはじめとする各種応援グッズやノベルティの制作・販売を行っています。生産に用いるポットイングマシンは独自に開発、自動化を実現したもので、原料となる樹脂ともども販売もしています。付加価値の高い特殊印刷技術は、グループの商材をさらに魅力的なものへと変貌させます。



2021年1月参画 / 2021年4月持分法



株式会社リングストーン

包装資材および

販促商品の企画・製造・販売

東京都江東区亀戸6-1-10

<http://www.ringston.co.jp/>

持分法適用関連会社 議決権比率:37%

1971年12月設立。ファッションバックを中心に包装資材、パッケージ、販促商品を企画・開発・製造・販売を行っています。茨木県行方市にグラビア印刷機、各種自動製袋機を備えた自社工場を有し、デザインから印刷・製袋・加工・デリバリーまでの一貫生産体制を構築、お客さまの柔軟なニーズと短納期に対応しています。当社グループとの親和性も高く、新たなシナジー効果の創出を見込んでいます。



2020年4月参画 / 2020年7月連結

新日本工芸(株)

新日本工芸株式会社

縁起物・授与品の製造販売

茨城県水戸市河和田町3891

<http://shinnihonkogei.co.jp/>

連結子会社 議決権比率:100%

1990年4月設立。茨城、仙台を拠点として、日本全国の神社・神社などに対して縁起物、授与品の奉製・販売をしています。その特色ある事業に当社グループのもつ多様なソリューションが取り入れられることによって、さらに付加価値の高い商品・サービスの提供が可能となります。全国を網羅した営業基盤は当社グループが商圈を拡大していくうえでも大きなメリットになるものと期待しています。



2020年7月参画 / 2020年10月持分法

ONE PUBLISHING

株式会社ワン・パブリッシング

雑誌書籍出版・WEBメディア事業・

コンテンツマーケット事業

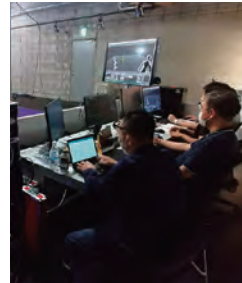
東京都台東区上野3-24-6

上野フロンティアタワー14F

<https://one-publishing.co.jp/>

持分法適用関連会社 議決権比率:49%

2020年7月、株式会社学研プラスのメディア事業を会社分割する形で設立。「GetNavi」「CAPA」「ムー」「BOMB」「POTATO」「TVライフ」など、広く深く認知されている定期雑誌ブランドを有しています。コンテンツのアウトプットを雑誌・出版に限らず、電子出版、WEB、SNS、イベントなどへの展開を進めており、当社グループのモノづくり・サービスとの連携は双方の事業に大きなメリットをもたらします。



2020年7月参画

aex inc.

株式会社アエックス

CG映像の企画・制作および

自社コンテンツの企画制作、管理

大阪府中央区城見1-2-27

クリスタルタワー36F

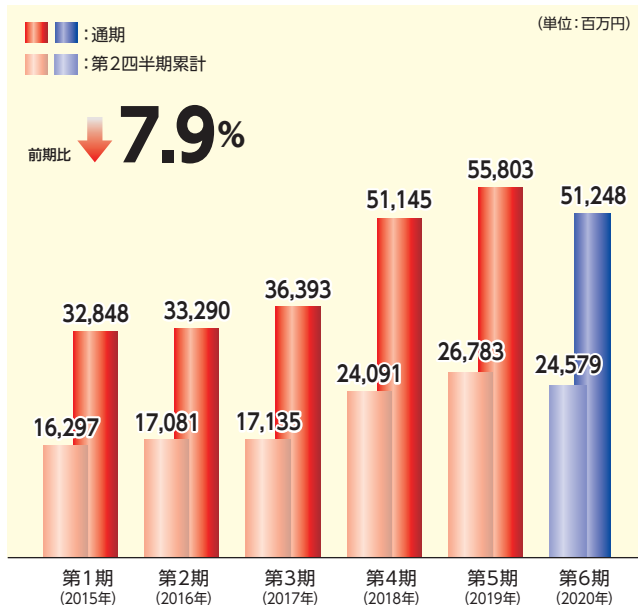
<http://www.aexinc.co.jp/>

持分法適用外関連会社 議決権比率:79%

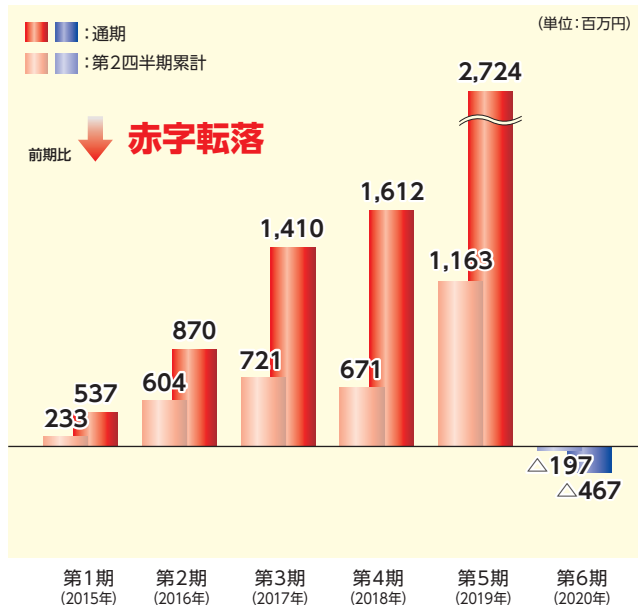
1993年9月設立。コンピュータグラフィックスを使用した映像の企画制作に加え、それら映像施設の設計施工、自社コンテンツの企画制作およびその管理などを行っています。業界内で知名度の高い「ルミエール・ジャパン・アワード」において数々の賞を獲得するなど、作品には高い評価をいただいております。当社グループとの連携することによって、互いの企業価値がさらに高まることを見込んでいます。

連結業績ハイライト

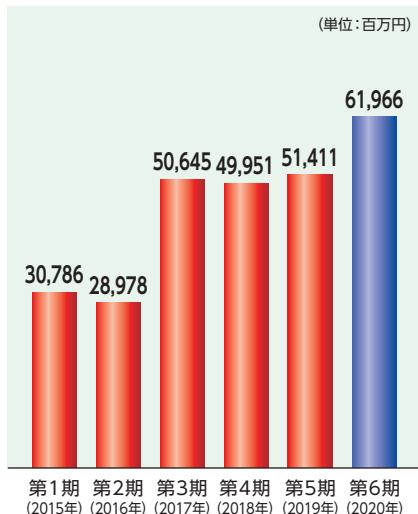
◆ 売上高



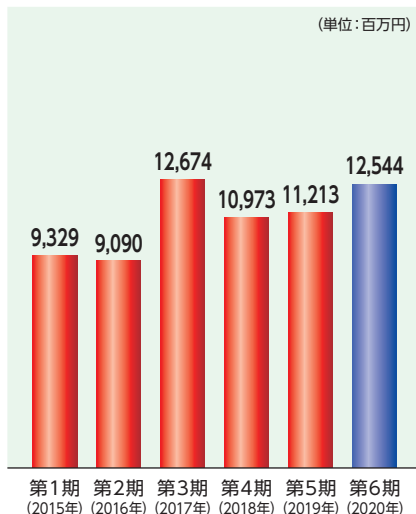
◆ 営業利益



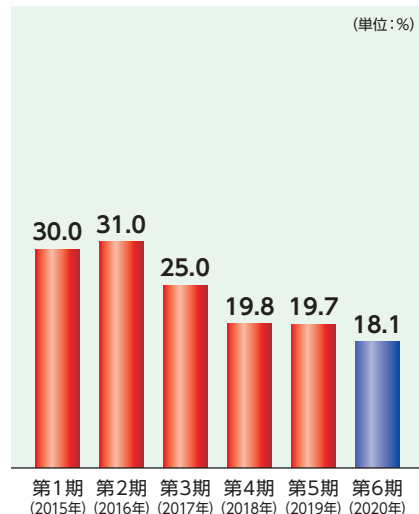
◆ 総資産



◆ 純資産

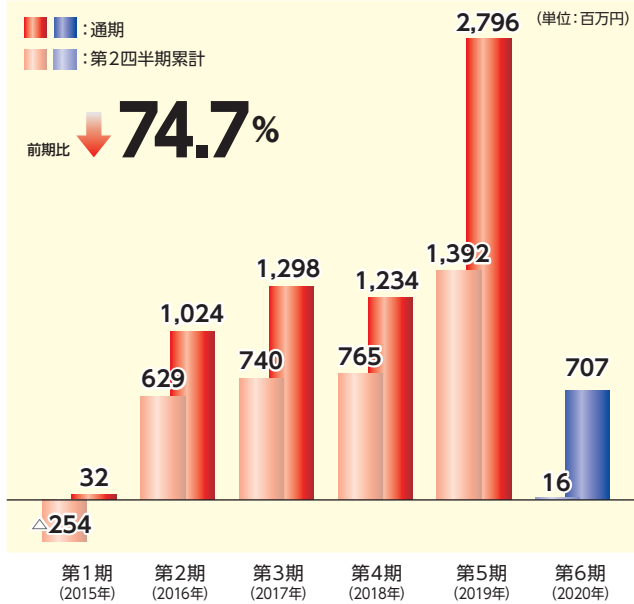


◆ 自己資本比率

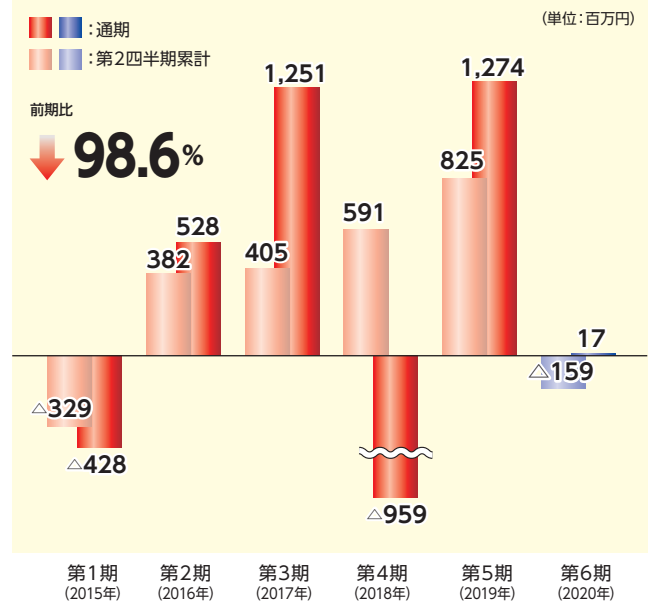


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

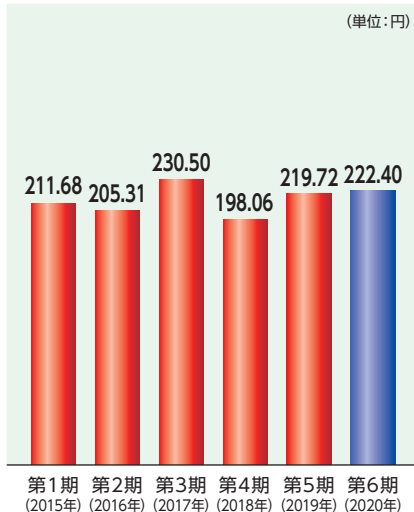
◆ 経常利益



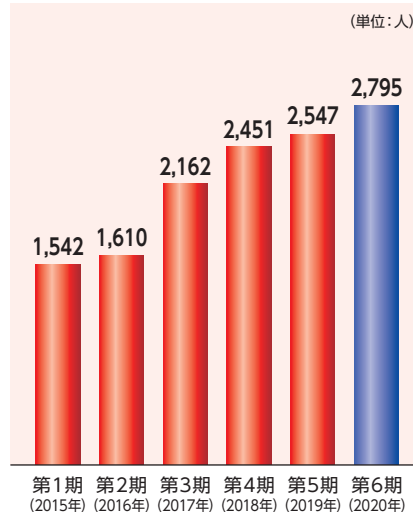
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



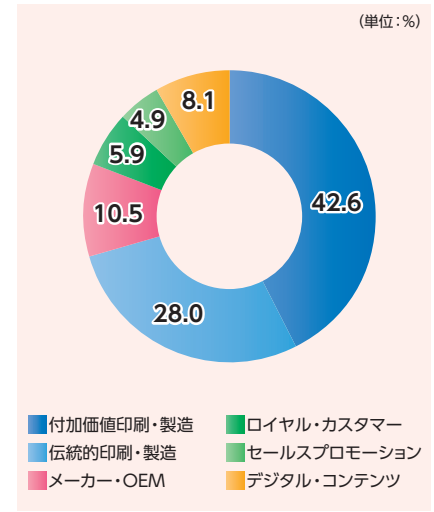
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第1期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期		科目	前 期		当 期	
	2019年12月31日現在		2020年12月31日現在			2019年12月31日現在		2020年12月31日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	22,581	31,477	流動負債	30,382	40,278				
現金及び預金	7,141	14,482	買掛金	2,614	3,619				
受取手形及び売掛金	10,795	10,308	短期借入金	22,000	31,000				
短期貸付金	322	1,994	その他	5,768	5,658				
その他	4,322	4,691							
固定資産	28,829	30,489	固定負債	9,814	9,144				
有形固定資産	22,121	22,887	長期借入金	6,300	5,900				
建物及び構築物	6,401	6,439	退職給付に係る負債	957	1,108				
機械装置及び運搬具	2,758	2,856	その他	2,557	2,135				
土地	12,385	13,165							
その他	575	425	負債合計	40,197	49,422				
無形固定資産	925	1,089	(純資産の部)						
のれん	86	257	株主資本	10,005	11,143				
その他	839	832	資本金	400	400				
			資本剰余金	4,937	5,518				
			利益剰余金	6,826	6,345				
			自己株式	△2,157	△1,120				
投資その他の資産	5,782	6,511	その他の包括利益	109	82				
投資有価証券	3,532	3,899	累計額合計						
その他	2,249	2,612	非支配株主持分	1,098	1,318				
資産合計	51,411	61,966	純資産合計	11,213	12,544				
			負債及び純資産合計	51,411	61,966				

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
売上高	55,635	51,248
売上原価	39,787	38,121
売上総利益	15,847	13,127
販売費及び一般管理費	13,251	13,594
営業利益	2,596	△467
営業外収益	609	1,482
営業外費用	409	307
経常利益	2,796	707
特別利益	269	246
特別損益	837	472
税金等調整前当期純利益	2,228	481
法人税等	826	379
非支配株主に帰属する当期純利益	127	84
親会社株主に帰属する当期純利益	1,274	17

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
当期純利益	1,401	101
その他有価証券評価差額分	43	△60
繰延ヘッジ損益	1	△0
退職給付に係る調整額	4	12
その他	△0	△0
その他の包括利益合計	48	△48
包括利益	1,449	52

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー	2,520	3,086
投資活動によるキャッシュフロー	△1,524	△3,272
財務活動によるキャッシュフロー	483	7,540
現金及び現金同等物の増減額	1,477	7,352
現金及び現金同等物の期首残高	5,550	7,138
現金及び現金同等物の期末残高	7,138	14,474

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2020年1月1日から12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 余 金	利 益 余 金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	4,937	6,826	△2,157	10,005	108	△3	3	109	1,098	11,213
当期変動額											
剰余金の配当			△489		△489						△489
親会社株主に帰属する 当期純利益			17		17						17
自己株式の取得				△0	△0						△0
譲渡制限付株式報酬		22		70	93						93
株式交換による増加		440		966	1,406						1,406
連結子会社株式の 取得による持分の増減		107			107						107
その他		10	△8		2						2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-	△39	△0	12	△27	219	192
当期変動額合計	-	581	△480	1,037	1,138	△39	△0	12	△27	219	1,330
当期末残高	400	5,518	6,345	△1,120	11,143	69	△3	16	82	1,318	12,544

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号	株式会社日本創発グループ
英文商号	JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容	傘下グループ会社の経営管理およびそれに付随する業務
設立年月日	2015年1月5日
本社所在地	〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金	400,000,000円
決算期	12月31日
会計監査人	PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数	2,795名(2020.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士	荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード	7814
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	55,271,736株
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行
決算期	12月31日
定時株主総会	3月

■ 役員

代表取締役会長	山川 昌夫
代表取締役社長	藤田 一郎
取締役	鈴木 隆一
取締役	林 基史
取締役	菊地 克二
取締役 監査等委員	野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員	瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員	寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員	篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員	菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員	徳田 佳代子(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにとつてのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①		②	③
	⑤		
④	⑥		⑦
		⑧	

- ① 感染防止対策を少しでも楽しくとの願いから開発したフェイスシールドです。特殊抗菌PPで視界もクリア!「たのし〜るど」。
- ② さまざまな形状のゼムクリップ。好きなカタチで特注することも可能なのでノベルティグッズにも最適です。
- ③ リアル空間に実物大の家具や生活雑貨をAR合成、実際の生活をイメージできるバーチャルホームステージングシステム。
- ④ グループ初の出版・メディア企業、(株)ワン・パブリッシングが手掛けるGetNaviを中心とする人気雑誌と書籍の数々。
- ⑤ 映像制作に関わる美術造形も行っていきます。スタッフの手により映像作品の中で可愛い人形に命が吹き込まれます。
- ⑥ シーンや気分に合わせて貼るだけで楽しめるネイルシール。伸縮性に富み、爪のカーブにもよくなじみます。
- ⑦ 印刷物の上に透明な樹脂をドーム状に盛るポッティング印刷。つややかな光沢と丸みで高級感と立体感を演出。
- ⑧ 3DCG都市データシリーズ「REAL 3DMAP YOKOHAMA」が描いた横浜みなとみらい。窓ガラスの反射もリアルに再現。



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。